

2022年9月7日

株式会社三菱UFJ銀行

## 兵庫県が発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、兵庫県が発行する「兵庫県令和4年度第4回公募公債（グリーンボンド・10年）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、兵庫県が策定する「ひょうごビジョン2050<sup>[1]</sup>」で示されている地域の個性を活かしたSDGsの達成や、気候変動に対応した防災・減災の取組等の環境課題の解決に資する事業に充当されます。

### 【環境施策】

| 分類                         | 事業内容   |
|----------------------------|--|
| 汚染防止及び抑制<br>再生可能エネルギー      | 下水汚泥広域処理場整備事業（下水汚泥を利用したバイオガスの生成・固形燃料化）   |
| エネルギー効率<br>再生可能エネルギー       | 県有施設の設備更新（照明のLED化、空調設備の更新、太陽光発電設備の導入）  |
| 気候変動への適応                   | 治水対策の推進を目的とした河川改修<br>土砂災害対策のための治山・砂防対策等<br>豪雨災害時に備えた法面防災対策<br>豪雨時の防災・減災対策を目的としたため池防災対策<br>高潮対策のための防潮堤の嵩上げや胸壁整備 |
| 生物自然資源及び土地利用に係る<br>環境持続型管理 | 土砂災害防止や温室効果ガスの吸収に資する森林整備<br>森林整備に必要な林道整備   |
| 陸上及び水生生物の多様性の保全            | コウノトリの生息環境整備（ため池の浅瀬やビオトープの造成）  |

なお、本債券は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021<sup>[2]</sup>」および環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン2022年度版<sup>[3]</sup>」に適合していると認められており、最上位評価である「Green 1（F）」の評価を取得しております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 銘柄  | 兵庫県令和4年度第4回公募公債（グリーンボンド・10年） |
| 年限  | 10年                          |
| 発行額 | 100億円                        |
| 発行日 | 2022年9月20日                   |

- [1] 兵庫県が策定する「ひょうごビジョン2050」は以下をご参照ください。  
<https://hyogo-vision.com/>
- [2] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」（英文）は以下をご参照ください。  
<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>
- [3] 環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン2022年度版」は以下をご参照ください。  
[https://www.env.go.jp/press/press\\_00186.html](https://www.env.go.jp/press/press_00186.html)

以上